

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	4・大日本	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	理科 332 理科 432 理科 532 理科 632	新版 たのしい理科 3年 新版 たのしい理科 4年 新版 たのしい理科 5年 新版 たのしい理科 6年
取扱内容  〔各教科、各学年の目標、内容等〕	<p>物質・エネルギー 第3学年では、粘土やアルミニウム箔の形を変えて重さを調べる実験、風の力で動くおもちゃを作るものづくり、第4学年では、水が沸騰したときに出る泡を調べる実験、電池で動くおもちゃを作るものづくり、第5学年では、食塩などが水に溶ける量を調べる実験、電磁石の性質を利用したおもちゃを作るものづくり、第6学年では、物を燃やす実験、つり合いを利用した道具やおもちゃを作るものづくりなどの活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>生命・地球 第3学年では、ヒマワリの栽培、日なたと日陰での地面の違いを調べる観察、第4学年では、骨と筋肉の働きを調べる観察、時刻による半月の位置の変化を調べる観察、第5学年では、アサガオ等の花のつくりの観察、メダカの飼育、流れる水の働きを調べる実験、第6学年では、呼気と吸気の違いを調べる実験、月や太陽の位置を調べる観察などの活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応 第3学年では、「方位磁針」や「温度計」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び方位磁針の性質を基に地球も磁石であることを理解する発展的な学習、第4学年では、「星座早見」や「アルコーランブ」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及びエタノールが温度により状態が変化することを理解する発展的な学習、第5学年では、「双眼実体顕微鏡」や「電子てんびん」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及びコーヒースーガーの溶け方から水溶液の濃さがどこでも同じことを理解するなどの発展的な学習、第6学年では、「駒込ピペット」や「コンデンサー」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び植物の蒸散を利用して建物の室温の上昇を抑える工夫を理解するなどの発展的な学習が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>内容の構成・排列 第3学年の「太陽のうごきと地面のようすをしらべよう」では、影踏み遊びから影と太陽の関係について考えられるように、第4学年の「電気のはたらき」では、既習事項を振り返ることができるように、第5学年の「流れる水のはたらき」では、流水の働きを土地の変化と自然災害及び防災に関連付けて考えられるように、第6学年の「ものの燃え方」では、日常生活の経験と関連付けながら燃える仕組みについて考えられるように単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>内容の分量 第3学年では、物質・エネルギーは62ページ、生命・地球は70ページ、資料等は8ページであり、総ページ数は140ページで、前回より約6パーセント増となっている。 第4学年では、物質・エネルギーは62ページ、生命・地球は104ページ、資料等は10ページであり、総ページ数は176ページで、前回と同様となっている。 第5学年では、物質・エネルギーは54ページ、生命・地球は106ページ、資料等は8ページであり、総ページ数は168ページで、前回より約5パーセント増となっている。 第6学年では、物質・エネルギーは72ページ、生命・地球は108ページ、資料等は8ページであり、総ページ数は188ページで、前回より約7パーセント増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>コラム「りかのたまてばこ」では、理科を学ぶ意義を実感できるようにしたり（全学年）、ふりこの写真を掲載したり（第5学年）するなど、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>特集ページの「理科の学び方」や「わかったこと」では、研究の計画の立て方、調べ方、まとめ方を取り上げるなど、主体的に学習できる工夫がなされている。（全学年）</p> <p>学んだ内容を再確認し、上位学年との関連を意識できる「年生になったら」を設ける（全学年）とともに、安全に対して配慮する箇所に「注意」マークを付けたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>北海道と関連のある教材は、「雲と雲のかげ」など、2箇所取り上げられている。</p> <p>エネルギー・環境に関する内容等の教材は、「風力発電」など、32箇所取り上げられている。</p>			